

※資料に関するお問い合わせ先
奈良国立博物館 学芸部 情報サービス室
Tel 0742-22-4463(直通) Fax 0742-22-7221

令和5年2月吉日
奈良国立博物館

特集展示 新たに修理された文化財

Thematic Exhibition from the Permanent Collection

Newly Conserved Cultural Properties

新修复文物系列展

새롭게 수리한 문화재

[1] 会 場 奈良国立博物館 西新館

[2] 会 期 令和5年2月21日（火）～令和5年3月19日（日）

休 館 日 2月27日（月）

開館時間 午前9時30分～午後5時

※土曜日は午後8時まで

※3月1日（水）～3日（金）、5日（日）～10日（金）、13日（月）・14日（火）は午後6時まで

※3月12日（日）は午後7時まで

※入館は閉館の30分前まで

[3] 主 催 奈良国立博物館

[4] 観覧料金 名品展（なら仏像館・西新館・青銅器館）の料金でご覧になれます。

一 般 700円

大 学 生 350円

※ 高校生以下または18歳未満の方、満70歳以上の方、障害者手帳またはミライロID（スマートフォン向け障害者手帳アプリ）をお持ちの方（介護者1名を含む）は無料です。

※ 同時期開催の特別陳列「お水取り」（東新館）の観覧券でもご覧になれます。

[5] 問い合わせ先

奈良国立博物館 Nara National Museum
〒630-8213 奈良市登大路町 50 (奈良公園内)
ハローダイヤル 050-5542-8600
ホームページ <https://www.narahaku.go.jp/>
〈交通案内〉
近鉄奈良駅下車徒歩 15 分、
または JR 奈良・近鉄奈良駅から市内循環バス外回り「氷室神社・国立博物館」下車すぐ

[6] 展示件数 5 件 (うち国宝 1 件)

[7] 展示内容

長い歴史を経て今に伝わる文化財は、その多くが過去に人の手による修理を受けながら大切に保存してきたものです。これらの文化財をさらに未来へと継承していくために、当館では、彫刻・絵画・書跡・工芸・考古の各分野の収蔵品（館蔵品・寄託品）について、毎年計画的に修理を実施しています。

本特集展示では、前年度までに修理された収蔵品の中から選りすぐった文化財を展示公開すると共に、その修理内容についてパネルでご紹介いたします。

[8] 展示品一覧

指定	文化財名称	員数	所蔵者	修理期間
	熊野宮曼荼羅	1 幅	聖護院	令和 2 年度～3 年度
	聖徳太子絵伝	2 幅	当館	令和元年度～3 年度
	二十八部衆立像のうち 迦楼羅王・五部淨居天・毘沙門天・毘樓 博叉天	4 軀	当館	令和 2 年度～3 年度
国宝	飛天像（横笛）（金堂天蓋附屬）	1 軀	法隆寺	令和 3 年度
	毘沙門天王三尊懸仏	1 面	朝護孫子寺	令和 3 年度

[9] 主な展示品

1. 熊野宮曼荼羅

絹本著色 鎌倉時代（13世紀）

京都 聖護院

公益財団法人出光美術館助成による修理（令和2～3年度）

施工 株式会社文化財保存

熊野本宮大社を中心^{くまのほんぐうたいしゃ}に熊野の神域を描く。本宮の社殿上方に連なる円相内に祭神の本来の姿とされた仏菩薩、下段の山中に修驗道の開祖・役行者を配す。画面の欠失や折れ、汚れを改善するため、欠失部に補修絹を施し、裏打紙や表装裂を全て新調する本格修理を行った。



2. 国宝 飛天像（横笛）（金堂天蓋附属）

木造 彩色 飛鳥時代（7世紀）

奈良 法隆寺

寄付金による修理（令和3年度）

施工 公益財団法人 美術院

法隆寺金堂内に懸かる天蓋に取り付けられていた飛天像の一つ。同じく天蓋附属の鳳凰像とともに飛鳥時代の代表作に数えられる。今回の修理で、彩色の剥落止めや、脱落した蓮弁の復位を行い、天蓋に固定するための鉄芯を補強して、保存状態の安定化を図った。

